

在宅勤務 実施職員インタビュー



現在の仕事内容は？

特定非営利活動促進法に基づくNPO法人の設立や定款変更などの認証とそれらに関するNPOからの相談を受け付けています。

また、NPOの運営基盤を強化するため、講座や情報交換会などの事業を実施しているので、委託している団体との打合せや現地確認などの業務を行っています。



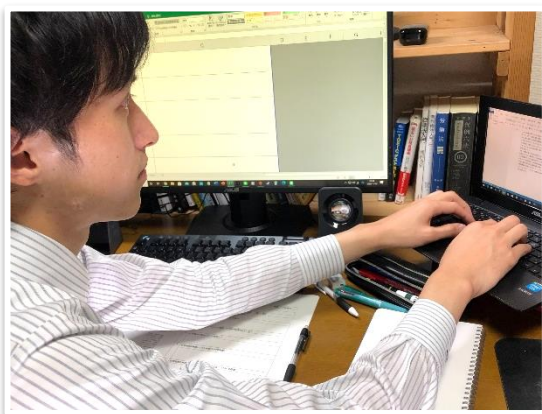
◀ NPO法人の設立・管理運営の手引き

▼ 情報交換会の現地確認の様子



在宅勤務で実施している業務は？

NPO法改正などに関する国とのオンライン会議、NPO法人からの相談に関する調べもの、委託業者との打合せ資料作成やメールの確認・対応などです。



▲ 大きなモニターや体に合った椅子や机などを使用するようにしており、作業にあたり身体的負担が少なくなるようにしています。

どんな時に、どの位の頻度で在宅勤務をしている？

事業実施前の内容を検討している段階では週に2～3回、事業実施期間の現地確認を行う段階では週に1回程度です。

在宅勤務を実施するうえで工夫していることは？

職場でしかできない仕事(多くの書類を参照しながらの作業)と、在宅勤務でやる仕事(パソコンを中心とした作業)を分け、職場では資料作成の案を作成し、家では入力など手を動かす作業を中心に行うことで集中力が切れないよう工夫しています。

在宅勤務を実施してみた感想

職場とは異なり、電話や来客で作業を中断することがないため、業務に必要な情報の調査や書類を作成するときなど集中して取り組むことができます。

また、通勤・帰宅に時間や労力がかからないため、業務終了後のプライベートを充実させることができます。